



平成 23 年 2 月 3 日

各 位

会社名 三井ホーム株式会社
代表者名 代表取締役社長 生江 隆之
(コード：1868 東証第1部)
問合せ先 専務取締役専務執行役員 田所 一秀
(TEL. 03-3346-4411)

営業体制の再編について

当社は、住宅市場全般の動向などを踏まえ、当社グループのさらなる成長に向けた施策の一環として、今般、下記のとおり営業体制の再編を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 再編の概要

住宅市場においては、住宅ローン金利の低下や住宅取得促進政策の効果などにより、持家を中心に新設住宅着工戸数が回復傾向にあるなど明るい兆しもあるものの、雇用・所得環境の不透明感を背景に需要の本格的な回復には至っておりません。このような事業環境を鑑み、当社は、当社グループの永続的な成長に向け、今後さらなる市場拡大が見込まれる三大都市圏エリアならびにそれに準じるエリアに経営資源を集中させることにより、営業強化と収益拡大を図るため、営業体制の再編を行うことといたしました。この方針に則り、平成 23 年 4 月 1 日をもって、盛岡、山形、郡山、山梨、奈良、和歌山、山口、長崎、熊本の各エリアに配置している人材を、各エリアの近接の拠点ならびに三大都市圏に集約することといたします。

なお、当該エリアにおきましても、今後も近接の拠点において担当し、営業活動を継続いたします。

2. 再編対象エリアへの対応について

再編後も近接の拠点にて対応し、営業活動とともに、施工ならびにアフターメンテナンスについても体制を整え、継続してまいります。

3. 再編後の営業拠点展開について

平成 23 年度の営業拠点の体制につきましては、3月上旬に開催予定の取締役会を経て、改めて発表する予定としております。

4. 業績に与える影響

今回の営業体制の再編に伴い、当連結会計年度（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）において、固定資産除却損等の特別損失を約 700 百万円計上することとなる見込みであります。このため、平成 22 年 4 月 27 日公表の通期業績予想のうち、当期純利益について、連結業績予想を当初の 2,000 百万円から 1,600 百万円に、個別業績予想を当初の 1,700 百万円から 1,300 百万円にそれぞれ修正いたします。

以 上

(参考) 当期連結・個別業績予想ならびに前期実績

平成23年3月期連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 222,000	百万円 4,200	百万円 4,300	百万円 1,600	円 銭 24.14
(参考) 前期実績	209,924	3,639	3,840	1,295	19.54

平成23年3月期個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 153,000	百万円 1,600	百万円 2,900	百万円 1,300	円 銭 19.61
(参考) 前期実績	138,874	777	2,564	1,470	22.18